フィガロン乳剤

植物成長調整剤

（取扱メーカー）　日産化学工業株式会社

対象作物：温州ミカン。

成分：本剤は，5－クロル－3（1H）－インダゾリル酢酸エチル……20.0％を含む黄褐色透明可乳化油状の液体である。

作用特性：本剤は，温州ミカンに対し，幼果の摘果（間引き摘果と全摘果）および収穫果実の熟期促進（着色・糖度の上昇促進）に，すぐれた効果をあらわす。

特徴： ① 着果量を確認した温州ミカンに対し，生理落果のピーク後，平均果径20～25mmの時期（満開35～50日後）に散布できる。 ② 果実の肥大（発育）が小さいものほど落果する。 ③ 直花果やおくれ花果ほど落果しやすいので，玉ぞろいがよくなる。 ④ 果実の肥大は，人為摘果と同等以上になるが，極大果の発生や浮皮果が多くなる心配はない。 ⑤ 本剤を使用した収穫果は着色がよく，糖度の上昇が早まる。

毒性：普通物，魚毒性はA類で，河川・養魚池等に飛散流入しないよう注意する。

使用方法： ① 間引き摘果に使用する場合は，着果量の多いときは平均果径が約20mmの頃，着果量の少ないときは平均果径が約25mmの頃，2,000～1,000倍液を10アール当り250～300lをむらのないようていねいに散布する〔樹勢の安定した成木園で使用する。果径で落果の可否が決まる（果径20mm頃で約50％落果，25mm頃で約10％落果）ので，玉のびに合わせて適期に散布する。本剤散布後，手直しによる仕上げ摘果を行ない，果実の均質化をはかる〕。 ② 熟期促進に使用する場合は，2回の散布が必要であり，Ⓐ 間引き摘果をかねて使用する場合には，1回目；満開35～50日後（平均果径20～25mm頃）に2,000～1,000倍液．2回目；満開70～80日後に3,000～2,000倍液．Ⓑ 熟期促進だけに使用する場合には，1回目；満開50～60日後に3,000～2,000倍液．2回目；満開70～80日後に3,000～2,000倍液．いずれも10アール当り250～300lを，むらのないようにていねいに散布する〔留意点；適正着果量の園で使用する．樹勢の安定した秀品生産園で使用し，病害虫防除など園地管理は正しく行なう．水田転換園，火山灰土園，樹勢の強すぎる園や生理障害の認められる園では，効果の劣ることがある。肥培管理，土壌条件のよい園で使用する〕。 ③ 全摘果に使用する場合には，生理落果盛期（満開10～20日後）に1,000倍液を樹全体が均一にぬれる程度に散布する。部分的に全摘果したい場合には，その摘果したい部分に散布する。

使用上の注意事項： ① 散布直後に降雨があっても再散布しない。 ② アルカリ剤（ボルドー液，葉面散布剤等）およびマシン油乳剤との近接散布（処理前10日～処理後2日）および混用散布は避ける。また，その他の一般農薬とは混用しない。 ③ 希釈液は直射光線を避けて保存し，1～2日のうちに散布する。 ④ 本剤は植物ホルモン剤であり，微量で植物に種々の影響があるので，周辺の作物にかからないように注意する。特にはじめて使用するときは，農業技術者の指導を受ける。